

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

福岡まさき

平成21年12月 後援会事務局発行 市政だより

十二月定例会



国の「事業仕分け」から豊中市は何を学ぶのか！

先月30日から始まった12月定例会が22日に終了しました。来年度の予算編成を控えたこの時期、限られた予算をどう組み替え市民の期待に応えるか、将来の市のあるべき姿をどう作っていくかが大きなテーマとなりました。

政治の責任

こうした事は、規模の違いこそあれ、国も地方自治体も同じ責務を負っていることになります。ムダを排除し、効率的市政運営に努め、市民の安心と安全、将来に対する夢や期待を実現出来てこそ「政治が責任を果たした」と言えるのではないのでしょうか。

大きなヒントに

新政権が取り入れた手法の「事業仕分け」は、我々にも大きなヒントとなりました。予算編成過程がオープンとなり、国民注視の中で事業の是非、天下り団体のピンハネ、非効率性や役割を終えた事業など多くのものが白日のもとにさらされ廃止の判断も下りました。

なかには

国の将来を大きく左右する科学技術研究などは、高度な政治判断が求められます一方で、あれだけ現政権トップの金にまつわる問題が報道されても、内閣支持率が高率で維持される現実を見るとき、国民の民主党連立政権に対する

期待と不安を与党関係者は決して忘れてはならず、結果で証明するしか方法はありません。

豊中市でも事業仕分けを

豊中市についても今回の「事業仕分け」からしっかり学び、市民にとって必要な事業か、費用対効果は、優先順位は適切か、厚みを増すべき事業は何かなど詳細に検討すべきです。

また議員のチェック機能についても決算だけでなく予算編成を控えたこの時期に「新政とよなか議員団」の予算要望での申し入れ204項目を編成作業に今回も生かしてもらいたいです。
(4Pに関連記事)

「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501
豊中市中桜塚3丁目1番1号
TEL 6858-2620 (直通)
FAX 6852-2384

自宅

〒560-0082
豊中市新千里東町2-7 C27-1109
TEL 6833-7705
FAX 6831-1281
E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

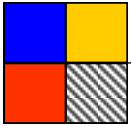
ホームページもご覧ください

<http://www.fukuokamasaki.com>

(ヤフー又はグーグルの福岡正輝で検索)



※お伝えしたい情報はたくさんありますが、「市政だより」だけでは限りがあります。ブログ形式で公開していますので、是非ご覧ください。



12月議会 「福岡まさき」が取り上げた問題

先月30日から始まった12月議会は、12月18日から各党会派の個人質問が始まり、私は初日に「新政とよなか議員団」の3番手として質問に立ちました。

今回の私の質問は、平成12年に策定され20年後の計画達成を目標とした「豊中市都市計画マスタープラン」の中間見直しとして、幅広い分野の中から下記のテーマに絞り質しました。

この計画は豊中市が魅力ある「まちづくり」を目指す上で重要な役割を果たすものです。計画から10年が経過する次年度、当初とは大きく変化してきた社会・経済・政治状況を踏まえ、より良い計画になるよう提言やアイデアを交え質問しました。

その1:環境問題を先進的取り組みで!

⇒ 市は目標達成のため検討を約束しました。

温室効果ガス削減対策で当市は、2020年に1990年比20%減、2050年には70%減という全国的にも珍しく、鳩山総理が国連で発表し、世界を驚かせた目標値(鳩山イニシアティブ)に匹敵する数値目標を掲げています。

これまで進めてきたこと

◇省エネ・エコライフに関する情報提供

◇照明のLED化

◇緑化・太陽光発電の推進

さらに

◆カーシェアリングの普及を!



一般公用車の低公害ハイブリッド車・電気自動車の導入を!

◆土日・祝日に公用車をカーシェアリング事業に提供するシステムを!

その2:産業振興で活性化と税収アップを

厳しい都市間競争のなか、市民満足度を上げることは政治の責務です。私は、豊中市のあるべき姿である3本の柱を育てることにより、人口増と活性化、税収アップにつなげ、結果として福祉政策の充実が図れると考えています。

その3本の柱とは

今回は②の一部と③にスポットを当て質問と具体的施策について提言し、実施を迫りました。企業立地促進条例の施行後、塩野義製薬新薬研究所(千人規模)をはじめ数社の条例適用会社が出現しました。

- ① 教育文化都市を本物にすること。
- ② 住宅環境都市の更なるレベルアップ。
- ③ 産業立地と振興による都市経営。

この条例制定については、議員になって以来市に働きかけ、内容についても大きく関わってきました。今回の企業誘致については市の努力を評価したい。



さらに、先日新聞1面で報じられたパナソニック(旧松下電産)三国工場跡地3.6hrにロボット関連企業など3社連合の誘致も正式決定されました。

※市は私の質問に対し、空港周辺移転跡地の地区計画条例の制定や高付加価値な利用を促進するため、企業立地促進条例の改正に取り組むことを検討します。



「いろいろブログ」



尾立議員から「事業仕分け」を聞く 10/31

今回の勉強会のテーマは、「政権交代後のこの国のかたち」と題して尾立参議院議員が講師となりました。尾立議員は当会のメンバーとしても当選以来、私たちと共に活動しており今回、民主党の事業仕分けで第2チームの主査を務めています。

数多くの事業のうち、直接民主党チームが仕分けできる事業は全体の約8%とのこと。これらを詳細に分析することにより「事業のムダ」を種別にパターン化マニュアル化し、後は役人の協力のもと実施していくようです。調査を進めていくことで前政権や官僚たちの巧妙な利権や天下り構造が明らかになっていくものと期待しています。

10月～12月の一部抜粋

- 10月14日 … 「秋クラブ指導」
- 10月20日 … 環境福祉常任委員会
- 10月27日 … 市民の皆様へ感謝
- 11月 6日 … 「松井秀喜」のMVPに思う
- 11月19日 … 行政視察実施(荒川区、横浜)
- 11月20日 … 第49回「議員研修会」
- 11月21日 … 私立幼稚園訪問
- 11月24日 … 父の命日
- 11月27日 … 都市計画審議会
- 12月 1日 … 「22年度予算要望」提出
- 12月 8日 … 「故人への市長感謝状」
- 12月13日 … 恒例「もちつき大会」
- 12月18日 … 「個人質問」始まる



皆さんの相談に応じて 12/5

これまでも多くの市民の皆様から相談を受けてきました。市政、住まい、漠然とした将来不安など、内容は公私両面にわたっています。

とくに最近多い相談は、厳しい社会・経済状況のもと、第一線で長年活躍された方々がリタイヤし、これからの不安、自らの行く末や人生の決着をどのようにつけるのかなど、非常に難しい相談もあります。

私は30年の地域活動、民間での経験、FP(ファイナンシャルプランナー)の実務を通して得た相続問題や資産管理、不動産関連での蓄積経験が他ではしにくい相談業務に役立ったと考えています。

とりわけ民生委員や地域福祉、自治会活動での地域密着体験は何事にも代えがたいものです。相談内容が解決した時や不安解消に少しでも役立てたとき、相談者の表情変化は何よりの喜びです。

母子家庭で育ち、多くの方に育てていただいた感謝の気持ちを少しでもお返し出来ればいいのだが … … …

思い出探しの母とともに 11/30

大阪市港区石田2丁目、この地は私の両親が約70年前に住んでいた町です。

両親は、大阪大空襲を機に生まれ故郷の淡路島に疎開し、父の亡き後も母はそこに8年前の90歳まで一人で暮らしていました。

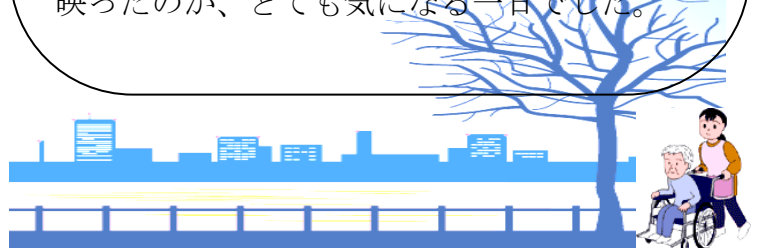
その母から一度連れて行ってほしいと頼まれていたが、思い出が跡形もなく消え去っている地へはなかなか行けませんでした。

今回行く決心をしたのは、別件で(中略)もっと早く連れて行ってやればよかったとの反省と自責の気持があったからです。

さて、今日の港区行きがどうだったか、安治川沿いにあったその地は、焼け野原になったのち川幅を広げるための工事があり、在所は川になってしまったと近くに住む老人から聞かされました。

結局、当時の思い出と重なる情景は何もなく、やけに幅広くなった川と石田2丁目という地名、記憶とは全く違った様子の小学校のみを母は確認することになりました。

過去への思い出探しが、母の脳裏にどう映ったのか、とても気になる一日でした。



救命力世界一宣言！

私の「市政報告会」で救急医療専門家から聞いた話として、もし「地球上のどこかで心肺停止で倒れることがあれば、北摂地域で倒れるのが世界で一番救命率が高く安全な地域である」と報告したことがあります。

しかし、ほとんどの人が「ほんまかいな？」と疑いのまなざしで私を見ていました。

それから1年余りたち今回、豊中市が「救命力世界一宣言」をすることになりました。

豊中市は、市民や事業者の救命意識が高く、私も以前から各地域での救命講習や出前講座の開催に積極的に取り組んできました。結果、救急隊数、救急救命士数の市域面積に対する割合など全国トップレベルを誇っています。

さらに、豊中市が属する豊能二次医療圏は、高度な救命処理を担う医療機関が充実しており、千里救急救命センターのドクターカー運用など、救命に対する最適な体制が取られています。この分野で「世界一安心・安全の町とよなか」を継続発展させるため、私のできる役割をしっかりと果たしていきたいと考えています。

尚、豊中市では年明けに記者発表します。

22年度予算要望書提出

私が所属する「新政とよなか議員団」は、新年度の予算編成にあたり12月1日市長に対し「22年度予算要望書」を提出し、市長をはじめ2人の副市長や幹部たちと懇談しました。

わが会派の基本的スタンスは、与党の立場にあつて是々非々を貫き、公平・公正・公開を原則としています。

提出した要望書は、行財政改革、市民福祉、教育、条例改正など204項目にわたっており、提言や新たな手法、アイデアの提供を通じ、これまでも市政改革に大きく貢献してきました。まさに「豊中

を変える政策集団」の面目躍如たるものです。

(予算要望書を希望の方はご連絡下さい)



大阪国際空港 豊中市の立場は…



私と所属する「新政とよなか議員団」は、これまで関西経済圏にとって大阪国際空港の重要性、とりわけ豊中市の「まちづくり」や税収効果から、騒音対策にも配慮しながら最有効活用に取り組んできました。

今では機材の改良や対策が功を奏し隔世の感があります。しかし、過去の呪縛から抜け出せず、活性化も「じり貧」の状態でした。

今議会、わが会派の主張に対し市長は、環境安全対策に万全を期すことを基本とし「廃止を前提とした議論には反対」との立場を明確にしました。今後も膨大な周辺跡地や利便性を生かした活性化で、市の財政にも寄与すべく最善の努力で取り組むたいと考えています。

・言いたい放題・

鳩山内閣が誕生してから3カ月以上が経過。事業仕分けや閣僚同士の激しいやり取りなどが国民の前にさらけ出された。前政権では密室で実施していたため予算編成の細かい内容は一般には知る由もなかった。混乱の中にも情報公開された事で「ムダや無茶」が国民の目にさらされたことは大きな前進かもしれない。

それにしても日本の権力トップは誰なのか？中国に大議員団を送り込み、胡錦濤国家主席と次から次へと2ショット、日本は中国の属国にでもなったのか。

習副主席の天皇との特例会見、外国人参政権問題、沖縄基地問題、景気・雇用対策等々……

この国の行く先に誤りなきことが大切だ！